

京橋の印刷

8月10日1992・No.83

東京都印刷工業組合京橋支部
〒104 東京都中央区新富1-16-8
日本印刷会館3F 電話 3552-1855

発行人
神林克明



勝どき橋際に新築されたニチレイ東銀座ビル屋上より築地本願寺を望む

ご挨拶

支部長 神林克明

京橋支部の皆様には御健勝の事お慶び申し上げます。さて五月十二日の総会にてご承認をいただき、浅学非才の身をかえりみず支部長としての大役を担うことになり、重責を痛感いたしております。もとよりその器でございませぬ、私としては勉強の場を与えて下さったものと微力を尽す覚悟でございます。

幸にして各地区よりご推薦いただきました、副支部長、地区長、の方々が若くして行動力ある優秀な方々に恵まれ又、本部常務理事に小山英美殿が選出されて大変心強く思い心より感謝をいたす次第です。施策としては本部事業の協力はもとより、支部の事業計画に則り、また、区行政（工団連事業）とのパイプを太くし地場産業として、業界の向上を計りたいと思います。支部員二三七社を擁し、来年七十周年記念行事は「温故知新」の故事にならない、支部員全員参加で是非ご協力をお願いいたします。

バブル不況の中で受注減や時短等の諸問題を抱えております、組合活動も大変困難な時期に当面しております。このような時こそ、支部員交流（作業交流）と懇親を深めて、組合員一人ひとりのお知恵を拝借して、組合活動に反映していきたいと思っております。どうぞよろしくご協力ご指導、ご鞭撻の程重ねてお願いいたします次第でございます。

平成四年度 通常総会開催・ 神林新執行部発足

連休明けの12日(火)、恒例の通常総会が中央会館7階にて、定刻6時から開かれた。

まず小倉副支部長の司会により、開会の言葉が述べられた後、田島支部長が挨拶の中で、「この2年間は内外ともに多端であった。本部の東京の印刷組合創立100年や中央区産業文化展への参加等の行事がありました。非力ではあったが皆様の協力で何とか京橋という大支部の運営が出来ました事を感謝致します。又、過日の八丁堀地区での火災による2社の類焼に際しては、支部規約により皆様から見舞金を拠出して戴き、2社へ贈呈致しました事をご報告致



します。」と2年間の総括した。議長に室田氏、副議長に小西氏を選出した後、議事に入り、近藤副支部長が第1号議案の平成3年度事業報告とともに、「中央区の地場産業として存続のため、中央区工団連事業として地場産業システムビルの建設を中央区へ提案して、数年後の実現を目指している。支部員は3月末で27社で新規加入は見込めず、又日本橋支部との合併による行政区別組織の拡充も、機、未だ熟さずで見送りとなった。」と報告した。続いて2号議案の平成3年度収支決算報告が佐藤副支部長により、予算と実績の差額の多い項目について説明がなされた後、同監査報告が永島・木島監査により行われて、各議案が拍手のうちに承認されました。続いて第3号議案の平成4年度事業計画(案)が近藤副支部長より説明があり、主なる行事予定として、中央区工団連創立30周年の記念行事が区商連創立40周年記念事業と合同で開催される他、中央区産業文化展が開催される予定であり、続いて、第4号議案の平成4年度収支予算案が佐藤副支部長により説明された。室田議長が両議案への質問を求めたが、拍手を





もって承認されました。第5号議案の次期役員
の承認・紹介に移り室田議長により、新支部長
には神林克明氏、副支部長には荒川龍治氏、水
野雅生氏、宮入茂三郎氏、松本正孝氏、十文字
康雄氏、松川昭義氏、の6名、監査には金山耕
二氏、坂田利正氏の2名が発表され、盛大な拍
手のうちに承認された。新たに選出された神林
支部長は

「一言ご挨拶をさせて頂きます。只今、皆様よ
りご承認を戴きまして、不肖私は70周年を迎え
ようとする伝統ある京橋支部の支部長という大



役をおおせつかりまして、身の引き締まる思い
で一杯であります。幸いにして本部常務理事に
小山さんが出られ、又支部役員には各地区から
選ばれました優秀な皆様に恵まれて、私と
致しましては大変心強く思う次第であります。

これから2年間、本部事業への協力はもとより、
支部の事業計画につきましても、私なりに努力
をいたす心算りでございます。なにとぞ皆様の
ご協力とご指導、ご鞭達、そして多くのご意見
等をお願い致します。何とか支えて戴きたい
と思っております。よろしくお願い申し上げます。
簡単ですが挨拶とさせて頂きます。有難とうご
ざいました。」(拍手)と抱負をのべ、議事は全

て終了した。室田議長は、皆様のご協力により
まして、議事がスムーズに進行した事を感謝し
て退席した。続いて来賓の紹介が司会の小倉副
支部長により、矢田美英中央区長、塚田益男東
印工組理事長、城所虎雄東製本工組京橋支部長、
河野聡中央区地域振興部商工課長、小葉忠昭中
央区工団連会長代行の各氏が拍手のうちに行為
れた。矢田区長が挨拶に立ち、

「常日頃は大変お世話になっております。本日は
東印工組京橋支部の総会にお招きを戴き誠に有

り、



難うございます。只今は総会の各議案が円滑に審議され承認された事をお慶び申し上げます。

又、田島前執行部の皆様方には長い間、ご苦労をかけ非常に感謝しております。又新しい執行部にご活躍を心からお願ひする次第です。大変難かしい時代ですけれども、前任者共々力を合せて素晴らしい支部にされる事を念願致します。

さて日頃は皆様方には区政全般に亘りまして、暖いご支援、ご協力を戴き、お蔭をもちまして中央区の行政も順調に推移している所ですが、しかし、景気も下降傾向を辿り、又都心に於る収益率、コンピュータ等の技術革新等、難かしい局面に入ってきて各業種共、それぞれご苦労されているのではないかなあと思う次第です。私共行政側は昨年策定致しました中央区商工業基本計画に基き、今、種々な施策を始めています。所ですけれども、特に地場産業である印刷関連業につきましては、その育成のために、新しい役員の方々と協力して進めて行きたいと思ひます。今年は特に秋には産業文化展があります。又お世話になります。よろしくご協力をお願い申し上げます。最後に全員の皆様のご活躍、ご健勝をお祈り致しまして私の挨拶とさせていただきます。有難うございました。(拍手)と述べ、続いて、塚田益男理事長は

「只今は大変スムーズに議事が進みまして誠に御出度うございます。私も連日のように各総会へ飛び廻っております。このように上手にいけば、私も大変気軽ですが、特に全国の場合ですと、そう簡単には行きませんが、種々ともめ



ることもあるわけで、このようにスムーズに行けばなあと思っております。さて日頃は大変、組合のためにお世話になります。厚く御礼申し上げます。とりわけ田島前支部長さんには大変お世話になりましたし、又これからは神林さんにも、何かとお世話になる訳ですけれども、どうぞ宜しくお願いを申し上げます。

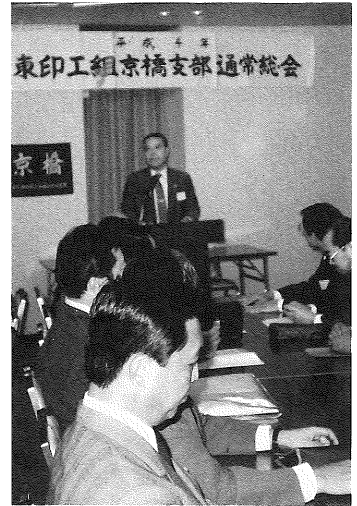
ご存知のように私共印刷業界を取り巻く環境も大変難しくなっております。いつもコンピュータ問題で振り回されている訳ですが、増々、私共も印刷業界といつていいのか、情報産業といつて

いいのか、誠に難かしい舵取りの時代になっております。皆様方もコンピュータ問題には何かと勉強が大変だと思っております。次に労働時間短縮問題も大変だと思っております。これは連日新聞等に出ますが、残業込みで1,800時間を目標にしている訳ですけれども、誠に夢みたいな話を聞かされるようで、ドイツは1,500時間を切ったとか言われています。どうやら労働省も本腰のようでございます。1,800時間でも難しいのに、私共は1,500時間はどうするのかと思ひますが、昔からハイデルの工場をみていますが、ハイデルのようには8月は会社は全部休みというようにしないと、1,500時間等という数字は出て来ません。そんな事は我々印刷業界では出来る訳がございません。なので、どうなるのかと思ひます。そんな事で、昨年は1,950時間を私共は目標として上げています。これは所定労働時間ですが、これから従業員が有給休暇を取ったり、欠勤したりするものが、15日位休むとすれば、100時間位になる。それを差し引くと1人当たり1,850時間位になると思ひているのです。それで一応1,950時間を所定の目標値にしているわけですが、これには残業時間を含んでないのです。残業時間を入れると2,000時間を超して、100時間以上にもなるのかと思ひます。手品みたいな妙な話になるかと思ひますが、こんな事でもしないと、とても目標値等には達成出来ないのも現実でございます。

そんな訳でこれも大きな課題です。又過日、印刷業界は談合が多いといつて公取にがっかりと睨まれている訳ですが、談合が一番多い

のは、大日本、凸版を始めとする大手14社、これが中心で、この間は道路公団の關係で事情聴取されたのですが、実は同日、全印工連にも呼出しが参りました、専務が私の代りに行つて話をして参りましたが、道路公団等調べてみると、まあ氷山の一角に過ぎない。他の官庁でも種々と、皆談合をやっているのではないかと、結局中小企業の代表がやっているのだから気を付けるという訳で、いろいろとあります。競争環境は益々厳しくなるのですが、ただでさえやらねばならぬ事が山程あるのですが、新年度も難しい時代になって来ると思います。私ももう一期やれという、ご命令でございますので向う二年間、皆様とご一緒に業界運動をさせて戴きますが、大変、難しい時でもございます。皆様方のご協力が何よりの頼りで御座いますので、皆様方の企業の一層の発展を祈りながら、組合の増強のためにも、お力添えを戴きますように、心からお願い申し上げます、私の挨拶とさせて戴きます。本日はお目出度うございました。」(拍手)と挨拶をされた。

最後に中央区工団連会長代行の小葉忠昭氏が挨拶に立って、
「皆様の貴重な時間をお借りして一言だけ述べさせて戴きます。工団連前会長のあとを受けまして代理を勤めさせて戴いてます。中央区工団連は現在印刷・製本が中核となって動いている訳です。これまではあまり活動していなかったのではと思います。これからは中央区の産業を我々が中心となつてしっかりとしたものにして行



きたいと中央区ともいろいろ話をして来ましたが、只今、矢田区長からお話がありました。この地場産業に対して強力なご支援をして下さるという約束を得ております。その中で、特に印刷・製本に關しましては工団連の中でも多数の会員を占めているものですから、特に力を入れて戴きたいと思ひまして、お願いする次第です。今度、中央区では中小企業技能者育成のための高度研修助成制度を設けて、各種技能研修への補助が最高10万円迄受けられます。これは皆さんの会社で各種の研修に参加した場合、中央区でその費用を補助しようというものです。それともう一つは店舗・工場等、小規模再開発融資制度、これもあまり利用されていません。その他、中小企業施設改善資金の一億迄の融資もありまして、中央区の中小企業福利施設設置資金を、利子補給付きで受けられるという制度も発足しております。先日、中小企業庁の総務課長が東商の会合で話されてましたが、平成4年度の中小企業助成制度が非常に有利な形で設

定され、施行される予定と聞いています。特に地場産業に付いては市町村を通じて強力な助成策を行うといっています。京橋支部員は、又皆中央区工団連の会員でもありますので是非これらをご利用下さい。さて6月14・15日には中央区及工団連主催の一泊研修旅行が新潟県の大湯温泉で行われます。又秋には中央区産業文化展が開催されますが、これも中央区工団連が中心となつて他の産業も参加して催されます。来年2月には中央区工団連30周年、区商連40周年の行事も予定されています。地域の活性化のために、是非皆様のご意見、ご支援をお待ち致します。」(拍手)と述べました。

総会は予定通り進行し閉会の挨拶を中山副支部長が行い終了した。

引続き別室で懇親会が開かれ、田島前支部長は挨拶のなかで、種々な事情で、今回は本部役員へ京橋支部からは、小山常務理事だけ1名しか出す事が出来なかつたのが甚だ残念ですが、又来期2名以上の役員を出す事が望まれます。」と結んで2年間のご協力を感謝した。

小宮山顧問は乾杯の挨拶に立ち、今総会をもって退任した支部・本部役員へ感謝の言葉を述べ、また今期役員各位のご活躍を願つて乾杯の音頭をとり一同声高らかに乾杯し懇談になった。

宴たけなわのなか予定の時刻になり、中締め音頭が石澤顧問により行われ、つづいて京青会の新役員の紹介等があり、8時過ぎお開きとなった。尚、当日は75名の支部員が出席した。



中央区工団連総会開催

6月3日(水)、16時から中央会館7階にて、中央区工団連の総会が開かれた。

まず司会の田島副会長により開会の辞のあと、小葉会長代行が挨拶し、議長となり議事に入り、平成3年度事業報告が河北副会長によってなされた後、同収支決算報告が平林会計によって説明された。同会計監査報告は、桜井監事によって監査報告され、それぞれ異議なく拍手の内に承認されました。

続いて、役員改選が行われて、河野商工課長より、新会長には平林智司氏、副会長には小葉忠昭氏、田島弘氏、城所虎雄氏、神林克明氏、長谷川武次氏、岸田俊辰氏、丸保之助氏の7名が、又会計には斉藤文氏、松川昭義氏、監事には桜井経仁氏、安本稔氏がそれぞれ発表されて、拍手の内に承認されました。又、新相談役には、河北幹生氏、村松敏一氏、嶋佐正年氏の3名が就任された。

新しく会長になった平林氏が議長席に着いて、就任の挨拶を行い「私が会長に推されたのは、青天のへきれきであります。引受けた以上、一生懸命頑張って励みたい。」と述べた後、平成4年度事業計画案が神林副会長によって説明され、同収支予算案が松川会計担当役員によって示され、質疑応答に入り、拍手の内に承認されました。

以上議案承認の後、来賓祝辞に移り、矢田区



長が来賓挨拶を行い、「工団連の活動を大いにバックアップしてゆきたい。又、今期は産業文化展や、工団連30周年、区商連40周年等の行事があり期待しています。」と述べました。
 つづいて押田区議会議長、藤崎区商連会長の挨拶があり、他の来賓の紹介が行われ、河北相談役が閉会の辞を述べて終了した。

地区新役員紹介(敬称略)

京橋地区長	尾島賢一郎	三徳印刷(株)	同 幹事	鈴木 茂	光ビジネスフォーム(株)	同 幹事	中山 英男	(有)中山印刷所	
同 幹事	鈴木 茂	光ビジネスフォーム(株)	同 幹事	市川 重男	(株)三和印刷社	同 幹事	浅野 知一	協和美術印刷(株)	
銀座地区長	永島 洋二	冬水印刷(株)	同 幹事	山本 庄一	湊印刷所	同 幹事	中山 英男	(有)中山印刷所	
同 幹事	森山 哲雄	(有)一誠堂森山印刷所	同 幹事	青柳 晴男	(有)青柳印刷所	同 幹事	石井 明裕	金山印刷(株)	
同 幹事	山中 達男	正栄堂印刷(株)	同 幹事	八代東海夫	八代印刷工業	同 幹事	石井 久義	(株)久栄社	
同 幹事	小西 正雄	(有)小西商店印刷所	同 幹事	宮川 良一	(有)宮川印刷	同 幹事	石井 泰明	石井企画印刷(株)	
新富地区長	木島 照夫	ダイ・コー印刷(株)	同 幹事	西山 昇	西和印刷(株)	同 幹事	石井 泰明	石井企画印刷(株)	
同 幹事	竹山 宗次	(株)シール竹山	同 幹事	榎本 則義	(株)榎本印刷所	同 幹事	石井 泰明	石井企画印刷(株)	
同 幹事	片岡 俊英	(株)日刊スポーツ印刷社	同 幹事	萩谷 寛	(株)山口文洋堂	同 幹事	石井 泰明	石井企画印刷(株)	
築地地区長	神田 範世	(株)永和堂	同 幹事	石沢 勉	石澤印刷(株)	同 幹事	石井 泰明	石井企画印刷(株)	
同 幹事	佐野 務	大興印刷(株)	同 幹事	小倉 昭夫	(株)相互美術印刷本社	同 幹事	石井 泰明	石井企画印刷(株)	
同 幹事	今竹 茂	福田印刷工業(株)	同 幹事	大橋 正	(有)大橋印刷所	同 幹事	石井 泰明	石井企画印刷(株)	
入船地区長	尾賀 正昭	尾賀印刷(株)	同 幹事	宇野 一男	宇野印刷(株)	同 幹事	石井 泰明	石井企画印刷(株)	
同 幹事	畑井 健良	文英堂印刷(株)	同 幹事	荒井 和男	(株)荒井美術	同 幹事	石井 泰明	石井企画印刷(株)	
同 幹事	佐藤 徳治	中和印刷(株)	同 幹事	石井 治久	(有)幸文社石井印刷所	同 幹事	石井 泰明	石井企画印刷(株)	
同 幹事	武井 式人	(有)青雲社	同 幹事	金山 明裕	金山印刷(株)	同 幹事	石井 泰明	石井企画印刷(株)	
同 幹事	大沢 将宏	大沢印刷(株)	同 幹事	田島 久義	(株)久栄社	同 幹事	石井 泰明	石井企画印刷(株)	
同 幹事	吉田 昇弘	(株)吉田印刷所	同 幹事	月島地区長	石井精二郎	安信印刷工業(株)	同 幹事	石井 泰明	石井企画印刷(株)
同 幹事	篠倉 正信	(株)デイグ	同 幹事	石井 泰明	石井企画印刷(株)	同 幹事	石井 泰明	石井企画印刷(株)	

平成 4 ・ 5 年度京橋支部新役員



副支部長
宮 入 茂三郎
オカムラ印刷(株)
(総 務)



副支部長
荒 川 龍 治
誠文社印刷(株)
(総 務)



支 部 長
神 林 克 明
神林印刷(株)



副支部長
十 字 字 康 雄
三雄舎印刷(株)
(総 務)



副支部長
松 本 正 孝
橋本印刷(株)
(総 務)



副支部長
水 野 雅 生
ミズノプリテック(株)
(会 計)



監 査
坂 田 利 正
秀英堂紙工印刷(株)



監 査
金 山 耕 二
金山印刷(株)



副支部長
松 川 昭 義
松川印刷(株)
(総 務)

顧問・相談役・参与の会

支部総会後、初の新執行部による顧問・相談役・参与の会が築地・仲乘にて、17時30分より開かれ、新執行部の役員就任挨拶が行われました。

荒川副支部長より、開会のことばがあり、神林支部長が就任の挨拶のなかで、本部事業への協力、中央区工団連事業への積極参加、おしゃれ感覚の実践等の重点項目をあげて、支部員の協力を得て支部運営を進めて行きたい、との抱負を述べた。続いて新に相談役となられた田島弘氏、新参与の中山英男氏、佐藤勝男氏の紹介があり、挨拶があった。今期本部常務理事に就任された小山英美氏も、事務用委員会委員長としての抱負を述べられた。

次に当面する主な行事について、「9月、東京・プリンテック（幕張メッセ・本部事業、10月中央区産業文化展（工団連事業・日本橋プラザ）、来年2月には支部新年臨時総会、同2月に工団連30周年記念式典があり、又来年秋には、京橋支部70周年記念事業が予定されており、今後、委員会を設けて計画して行きますので、皆様のご協力をお願いします。」と神林支部長より報告が行われ、石澤顧問が、新執行部の発足を祝って乾杯の音頭をとり、一同乾杯の後、諸先輩のご意見を拝聴しながら、歓談の一夜を過ごし、8時過ぎ、斎藤顧問の中締めによってお開きとなり、楽しく懇親会を終了しました。



京青会7月研修会 — マッキントッシュ活用法 —

7月9日(木)、京青会幹事、新川地区昌平堂印刷(株)、伊森英明氏、同、(有)谷島、谷島豊氏の司会担当で、谷島氏の経営する、アメリカンスピーディ・プリンテングセンターヤジマの方々や、アメリカンスピーディ(株)の森本課長の協力、アップル社製のパソコン、マッキントッシュ

シュを3台、レーザープリンター等を持込んで、印刷会館3階にて、活用法についての研修が行われた。当日は、会員、O・Bの他幹部社員も参加して26名も参加、熱心に具体例をみながら勉強を三時間に亘って行った。
主にデザイナー等に利用されているというマッキントッシュの機器を使って、専ら軽印刷向きのコンビニプリンティングとしての威力を、企画・デザイン・製版・印刷・製本と他機器との組合せにより完了させる方法を、暑中見舞ハガキ等の実例を見ながら行い、熱気のもった研修会でした。



工団連の研修旅行に参加して

銀座地区 小西 正 雄

昨年湯西川温泉・平家本陣の工団連研修旅行に誘われて参加して楽しく良かったので、来年もまた一緒にいきましょうと約束していました。参加費の安いのも魅力だし今年もさっそく参加申し込みをしました。

梅雨中の六月十四日(日)・十五日(月)の一泊二日で、一日は雨が降ってもいたしかたなしと思っていました。快晴には一歩手前でしたが、バスの窓からは上越の山々も良く見え、ご機嫌の二日間でした。

二号車は、東印工・京橋支部の面々で、二年目でもあり、知った顔も多くそれも幸いでした。前の席は聞き耳をたてたわけではないのですが、八親会の連中だな、後ろの席は顔は知ってるようだが名前と地区はどこかな、あの人と挨拶を交わした名前が地区は……まあいいや時が立つと解るかな……などと考えてみたり、はや観光バスはガイドさんの案内で都心をとおりすぎて谷原から関越自動車道に入っていました。

ガイドさんの案内を左の耳から入って「ふん、ふん」とうなずいてみて右の耳から、すぐぬけるような聞き方で右をみたり、左をみたり、観光バスの旅を楽しんでいました。

ガイドさんからクイズができました。関越トンネルを出るまで何分掛かるかという問題です。早速バスの速度を計らなくてはと車外の標識を

みる。十秒で約二六〇メートルだから九十キロちよいだな、あっているのかな。久し振りの計算で心許無い。ガイドさんが「トンネルの長さは約十二キロ、九十五キロでこのバスが走っています」のヒント。なんだである。

九十キロとして十分で十五キロ、まあ八分かなと計算していたら「十分」と声、無いな、次に「十二分」……何も計算していないな……そんな考えてると「他にいませんか」とガイドさんに答えて曰く「八分」。

中間点で五分。なんだかスピードがでていない、なにしているのだ。少々いらいらする。結果は九分、正解者なしである。

トンネル内でスピード落とすから渋滞が発生するんだ。勝手な思いを巡らしていた。

塩沢インターを出て魚野の里で昼食、ビールを少々飲んでいい気分、おみやげをちよいと買って発車オーライ。

小出インター迄、高速道路を走り、泊まり旅館、大湯温泉・ホテル湯元につく。

旅館の会議室で林・明男(新潟県文化財保護指導委員・鈴木牧之顕彰会常任理事)の魚沼地方の産業と風土のテーマで講演会をいただきました。ユーモアありの話し方で、自然とのめり込む思いでした。

直路(上杉謙信が関東に軍を動かす為の秘密の近道)の一番重要な拠点がここ塩沢であること。そしてコシヒカリの中でも、ここのが一番おいしい話。北越雪譜について、縮(ちぢみ)のこと、愛の前立、大門堰、スキー産業や、雪国

の悲しさ、厳しさの中から生まれた、雪を知り、利用していることは、雪に強い上越新幹線で立証されていると、大変有意義な講演でした。湯につかり、夜の宴会は大変盛り上がりました。部屋に戻ってから二次会はビールを飲みながら、のど自慢の女中さんも加わり、自然に目が閉じるまで語り合いました。素晴らしい仲間と一時を得たことはこのうえもなくうれしいことです。



翌日は六日町の八海山麓の銘酒・八海山醸造の工場見学をし、市販されていないという吟上特撰酒は、口にはいった時のなめらかさは流石と絶賛しながら、あまり強くない私ですが遠慮しながら盃を重ねました。飲みやすく、うまいものでした。

昼食は山の宿・雲天で山菜すくしの精進食事でした。

帰路は寅さんを楽しみながら二日間の楽しい研修旅行も再会を約して解散しました。

今回、行かれなかった方もお誘いして、次回も是非参加したいものです。貴方も参加してみてはいかがですか。

(写真はトイメンのグループと一緒にパチリ)

支部の動き

4月2日(木) 臨時部長会(12時—14時)、

於・支部室、通常総会資料検討

4月7日(火) 本部臨時総代会(14時—16時)、

於・九段会館、本部新役員承認、新総代出席

4月8日(水) 監査会(12時—15時)、於・支

部室、永島・木島両監査、田島支部長、佐藤副支部長出席、帳簿残高の照会等を実施

4月22日(水) 中央区工団連正副会長会(10時30分—12時)、於・中央区役所、商団連と

打合せ

4月23日(木) 本部理事会(15時—17時)、

於・新川健保会館、田島支部長他理事

4月23日(木) 京青会定時総会(18時30分—19時)、於・築地スエヒロ、佐藤副支部長代理出席

4月28日(火) 京都電気安全協会理事会、総会

(16時—18時)、於・築地スエヒロ

5月7日(木) 本部支部長会(15—17時)、

於・印刷会館

1、本部事業推進について協議事項

・通常総代会の開催について、5/26、14時開会、議事終了後、各種感謝状の贈呈

・本部委員会委員の選出について

・本年度事業について、9/17—9/19幕張メッセプリンテック'92東京の開催

地場産業等構造高度化事業、東京都助成金、4年度600万円、5—7年度は各2千万円の補助が組合宛支給される。

・小規模企画情報紙の発行

5月8日(金) 中央区工団連正副会長会(10時30分—12時)、於・中央区役所

5月8日(金) 中央区産業文化展印刷・製本分科会(12時—14時)、於・支部室

5月12日(火) 京橋支部通常総会(18時—19時)、於・中央会館7階、会費1万円

式次第 司会 小倉副支部長

・開会のことば 小倉副支部長

・あいさつ 田島支部長

・議長及び副議長の選出

・議事

第1号議案、平成3年度事業報告 近藤副支部長

第2号議案、平成3年度収支決算報告 佐藤副支部長

平成3年度監査報告

永島・木島監査

第3号議案、平成4年度事業計画(案) 近藤副支部長

第4号議案、平成4年度収支予算(案) 佐藤副支部長

第5号議案、次期役員の承認・紹介

議長及び副議長の解任 来賓あいさつ

中央区区長 矢田美英殿

東印工組理事長 塚田益男殿

中央区工団連副会長 小葉忠昭殿

懇親会 進行 小倉副支部長

・あいさつ 田島支部長

・乾杯 京橋支部顧問 小宮山敬之殿

・中締 京橋支部顧問 石澤 幸殿

5月13日(水) 支部業務引継ぎ(16時—17時)、

於・支部室、新旧支部長、会計担当他出席

5月14日(木) 部長・監査・地区長会(11時—14時) 於・支部室

1、神林支部長就任挨拶

2、支部長会報告事項について

3、本部委員会委員の分担

4、本年度行事予定について、主なる行事、

6/3、顧問・相談役・参与の会、11月

幹事会、12月顧問・相談役・参与の会、

- 2 / 5、新年臨時総会、2 / 19、中央区工団連30周年記念式典他
- 5、支部名簿の発行について、前回どおり。
- 6、支部報「京橋の印刷」について
各号原稿は順次分担、第1号、京橋・銀座地区、第2号、新富・築地地区、第3号、入船地区、第4号、湊地区、第5号、八丁堀地区、第6号、新川地区、第7号、月島地区の順で2年間で、発行の予定。
5月16日(土)京橋製本協同組合定時総会(14時―16時)、於・箱根湯本吉池、荒川副支部長代理出席
- 5月19日(火)中央区産業文化展実行委員会(10時30分―12時)、於・中央区役所
- 5月22日(金)中央区工団連常任理事会(10時30分―12時)、於・中央区役所、神林支部長出席
- 5月22日(金)東印工組港支部10周年記念式典(17時―18時)、於・東京プリンスホテル、田島前支部長出席
- 5月26日(火)本部総代会(14時―16時)、於・椿山荘、神林支部長他理事・総代出席
- 5月26日(火)中央厚生事業協同組合総会(17時―18時)、於・箱崎ロイヤルパークホテル、神林支部長、荒川副支部長出席
- 6月1日(月)顧問・相談役・参与の会(17時30分―19時)、於・築地仲乗、26名出席
- 6月3日(水)中央区工団連総会(16時―17時)、於・中央会館7階、神林支部長他出席

- 6月4日(木)本部支部長会(15時―17時)、於・印刷会館4階、神林支部長出席
- 1、各支部支部長自己紹介
- 2、本部事業推進について協議事項
- ・委員会委員の編成について
- ・プリンテック'92東京の概況と運営について
- ・企業実態調査アンケート集計結果の周知について
- 3、支部連絡事項
- ・'93組合員名簿作成に伴う、校正依頼の確認
- ・第26回敬老の集い(9 / 9)新規該当者の確認
- ・火災共済代理所会議へ厚生委員が出席
- ・平成3年度組合脱退者の支部負債額確認
- 6月8日(月)中央区産業文化展印刷・製本分科会(12時―14時)、於・支部室
- 6月14日(日)・15日(月)中央区工団連宿泊研修旅行(8時30分―17時)、於・新潟県大湯温泉
- 講演会、新潟県の産業について、翌日、工場見学「八海山酒造」、京橋45名参加
- 6月19日(金)火災共済協組代理所会議(14時―16時)、於・熱海水葉亭、榎本厚生委員出席
- 支部員の異動**
- ・加入組合員
新富地区、(有)東昭、小宮昭夫殿が加入されました。(7月)

- ・脱退組合員
桜印刷(株)、森永清作殿が脱退(3月)新富地区
- (株)東京アートのプリント、栗林茂殿が脱退(5月)湊地区
- (有)栗林印刷、栗林弘殿が脱退(7月)銀座地区
- (株)トープロ、斎藤弘之殿が脱退(7月)入船地区
- 所在地変更**
- ・町田印刷(株)は、新富1―9―6、新富1丁目ビル、電話3206―8131へ移転しました。従って、所属地区も銀座地区から新富地区へ移ります。
- ・(株)毎原印刷所は江東区東陽3―19―12、電話5632―2381へ移転しました。
- 社名変更**
- ・興文堂印刷(株)は、(株)興文堂と社名変更。
- お悔み申し上げます**
- ▼新川地区、大城印刷(株)社長、大城輝彦殿が御逝去されました。(4月)
- ▼築地地区、永和堂(株)社長、神田半三殿が御逝去されました。(6月)
- ▼築地地区、東京開拓社社長、加藤秀殿が逝去されました。(7月)
- ▼八丁堀地区、(株)六三会長、島村義量殿が逝去されました。(7月)